

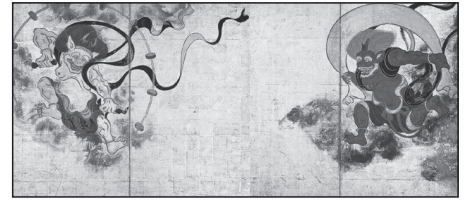
1. 町人が育てた元禄文化

- (1) 資料Ⅰ、Ⅱは、江戸時代を代表する屏風図です。
それぞれの作者名を書いてみよう。

資料Ⅰ

資料Ⅱ

資料Ⅰ 『風神雷神図屏風』



資料Ⅱ 『燕子花図屏風』



- (2) 二つの屏風図と2人の作者の共通点を挙げてみよう。

作品

作者

- (3) 次の①～⑤に当てはまる人名や語句を、⑥・⑦には作品の特色を記入し、元禄文化の特色をまとめてみよう。

	作者	分野	主な作品	特 色
文 学	①	浮世草子	『好色一代男』 『日本永代蔵』 『世間胸算用』	⑥
	近松門左衛門	②	『心中天網島』	義理と人情の葛藤を描いた
	③	俳諧・紀行文	『おくのほそ道』	⑦
絵 画	菱川師宣	④	『見返り美人図』	役者絵や美人画などで町人の姿を描いた
	尾形光琳 俵屋宗達	装飾画	『燕子花図屏風』 『風神雷神図屏風』	屏風や蒔絵などに大和絵の伝統を生かした華麗な装飾画を描いた
学 問	関孝和	⑤		日本独自の数学を発達させた
	渋川春海	暦学・天文学		中国の暦を日本独自のものに修正した

2. 現在に続く年中行事と暮らし

- (1) この時代に人々の間に定着し、現代にも受け継がれている年中行事や生活習慣を挙げてみよう。

年中行事	生活習慣

本時のまとめ

◆ なぜ上方の町人が文化の担い手となったのか、その理由を説明してみよう。

.....

.....

.....

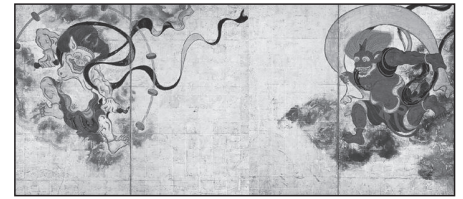
1. 町人が育てた元禄文化

- (1) 資料Ⅰ、Ⅱは、江戸時代を代表する屏風図です。
それぞれの作者名を書いてみよう。

資料Ⅰ 俵屋宗達

資料Ⅱ 尾形光琳

資料Ⅰ 『風神雷神図屏風』



資料Ⅱ 『燕子花図屏風』



- (2) 二つの屏風図と2人の作者の共通点を挙げてみよう。

作品 (例) 金地に大胆な構図でデザインされている。

作者 (例) 京都で活動していた。

- (3) 次の①～⑤に当てはまる人名や語句を、⑥・⑦には作品の特色を記入し、元禄文化の特色をまとめてみよう。

	作者	分野	主な作品	特 色
文 学	① 井原西鶴	浮世草子	『好色一代男』 『日本永代蔵』 『世間胸算用』	⑥ 金銭や出世を追い求めて喜んだり悲しんだりする町人の姿を浮世草子とよばれる小説に描いた
	近松門左衛門	② 人形浄瑠璃	『心中天網島』	義理と人情の葛藤を描いた
	③ 松尾芭蕉	俳諧・紀行文	『おくのほそ道』	⑦ 俳諧の芸術性を高め、町人や裕福な百姓の間で親しまれた
絵 画	菱川師宣	④ 浮世絵	『見返り美人図』	役者絵や美人画などで町人の姿を描いた
	尾形光琳 俵屋宗達	装飾画	『燕子花図屏風』 『風神雷神図屏風』	屏風や蒔絵などに大和絵の伝統を生かした華麗な装飾画を描いた
学 問	関孝和	⑤ 和算		日本独自の数学を発達させた
	渋川春海	暦学・天文学		中国の暦を日本独自のものに修正した

2. 現在に続く年中行事と暮らし

- (1) この時代に人々の間に定着し、現代にも受け継がれている年中行事や生活習慣を挙げてみよう。

年中行事	生活習慣
(例) ひな祭り 端午の節句 盆踊り など	(例) 一日三食の食事 照明をつけて夜に活動すること など

本時のまとめ

◆ なぜ上方の町人が文化の担い手となったのか、その理由を説明してみよう。

(例) 商業の発達と都市の繁栄によって町人たちが経済的なゆとりを持つようになり、また政治の中心が江戸へ移ったことで上方ではより文化に力を入れる動きが生まれ、経済力や技術力を持つ上方の町人が新たな文化を生み出したため。